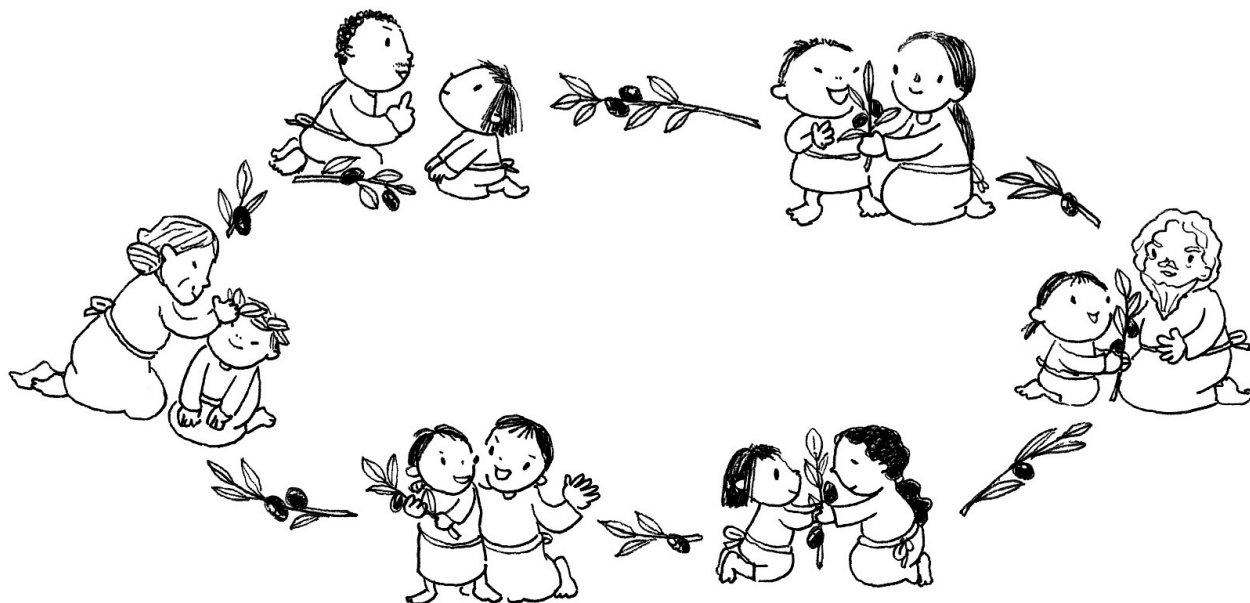


第 25 回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

「見えなくされている」人々の声に聴く



2014年8月7日(木)～8日(金)
福岡女学院中学高等学校

主催

第25回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>

【開催の目的】

- ①キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ②人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。
- ③キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、人権教育の広がりを創る。

第25回全国キリスト教学校人権教育セミナー要項

主の平和がありますように！

全国キリスト教学校人権教育研究協議会は、キリスト教学校や教会等での人権教育を深めるために、毎年、夏の全国セミナーを開いてきました。ことしは第25回セミナーとして、久しぶりに九州での開催を計画し、福岡女学院中学・高等学校を会場としてお借りすることができました。

平和や人権尊重への配慮を否定する声が、いつの間にか大きな流れとなっています。キリスト教学校は、イエスの愛に倣う教育として、様々な背景をもつ子どもたち、若者たちとの丁寧な関わりを大切にしてきました。しかしそのような関わり自体も、この大きな流れに飲み込まれ失われてゆくような危機感を覚えざるを得ません。

大きな流れの前で、存在が見えなくされている人々がいます。マイノリティの立場にある人々、差別される側に立たされやすい人々、被災地の人々等。様々な背景を切り捨てられ「教育の対象」化される子どもたち、若者たちの姿とそのような人々の姿とが、重なってくるように思われます。

大きな流れに抗し歩みを貫いておられる人々の経験に学び、声を聴くこと。その歩みの中に共におられる主イエスに出会うこと。そのことが、実は、子どもたち、若者たちとの丁寧な関わりを願う私たちそれぞれの現場の導きとなり、励ましとなるのではないのでしょうか。

今年のセミナーは、「3. 11」後3年を経過した福島からの声、指紋押捺拒否を貫かれた音楽家の演奏と声、労働者の現場からの声、これらの声に深く聴きます。5つの分科会により、人権をめぐる様々な課題に学校現場でどのように取り組むのか、実践に学び当事者や支援者の声を聴きます。オプションのフィールドワークでは、九州に深く刻まれている朝鮮人強制連行による炭鉱労働の歴史、再稼働が目論まれている原子力発電所の問題を学びます。

祈りの時、礼拝の時に、出会いや学び、聴いた声など、セミナーのすべてを聖書からの光に照らし、静かに問い返す視点をも持つことを願っています。

今年も、九州の地で、有意義な2日間を共に過ごしましょう。

●テーマ 「見えなくされている」人々の声に聴く

●日程 2014年8月7日(木)～8日(金) ※8月6日(水)オプションのフィールドワークあり

●会場 福岡女学院中学・高等学校 <http://www2.fukujo.ac.jp/js/>

●参加費 (オプション費用と共に、事前振込をお願いします)

出張 14,000円 / 自費 12,000円 / 学生 9,000円

(参加費にはセミナー諸費用、昼食代、ニュース購読・協議会運営協力費が含まれます)

☆フィールドワークはオプションです。セミナー参加費に4,000円または3,500円をプラスしてお送りください。

●申込 7月10日(木)までに、できるだけメールでお申込みください。

☆「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」のHP <http://zenkiri.junyx.net> から

申込書(用紙は2枚1組です)をダウンロードすることができます。

封書またはFAXでも申込は可能ですが、締切を厳守してください。



●申込先 【メール】 zenkiri2014@yahoo.co.jp

【郵送】〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 福岡女学院中学高等学校内

「第25回全国セミナー実行委員会」

【FAX】092-575-2498

●参加費振込先 郵便振替口座 番号：01780-0-139768 加入者名：第25回全国セミナー実行委員会

※7月17日(木)までにご送金ください。

●宿泊 各自でご予約ください。

※お問い合わせはメールまたはFAXにてお願いいたします。
※参加を申し込まれた方には「受付確認書」をお送りします。

第 25 回 全国キリスト教学校人権教育セミナー日程

(オプション) 8月6日(水)	
9:30 ~17:00	フィールドワーク A「筑豊に朝鮮人強制労働・差別の歴史を訪ねる」 (9:30 JR博多駅 筑紫口に集合 ⇒ 9:45出発⇒ 17:00 帰着予定) B「玄海原発を脱原発の視点で学ぶ」 (9:30 JR博多駅 筑紫口に集合 ⇒ 9:45出発⇒ 17:00 帰着予定)
1日目 8月7日(木) 会場：福岡女学院中学高等学校	
8:30~	受付 《講堂》
9:00~9:30	開会(賛美・祈り・基調報告) 《講堂》
9:30~10:30	聖書研究とメッセージ：片岡謁也さん 《講堂》
10:45~12:30	主題講演：崔善愛(チェ・ソンエ)さん 《講堂》
12:30~13:30	昼食(お弁当とお茶を用意します) 《大教室》
13:30~16:30	分科会(5つのグループにわかれます) 《5教室に分散》 (1)部落解放教育 (2)学校とセクシュアル・マイノリティ (3)東日本大震災で問われていること (4)外国にルーツをもつ子どもたち (5)「教育改革」とキリスト教学校
17:00~19:00	交流会 《福岡女学院ハウイ記念館(食堂)》
2日目 8月8日(金) 会場：福岡女学院中学高等学校	
8:30~	受付 《講堂》
8:45~10:00	朝の祈り：林 尚志さん 《講堂》
10:10~11:30	全体会 《講堂》
11:40~12:30	派遣礼拝：関田寛雄さん 《講堂》
12:30~13:15	昼食(お弁当とお茶を用意します) 《大教室》
13:15~14:00	「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」総会 《大教室》 終了

●主催 全国キリスト教学校人権教育研究協議会／第25回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

●後援 カトリック中央協議会学校教育委員会／キリスト教学校教育同盟／キリスト教保育連盟／
 全国在日外国人教育研究協議会／日本カトリック学校連合会／日本キリスト教協議会教育部

●賛同 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会／日本カトリック正義と平和協議会／カトリック部落
 差別人権委員会／在日韓国人問題研究所／在日大韓基督教会／日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会／日
 本キリスト教協議会部落差別問題委員会／日本基督教団在日韓国・朝鮮人連帯特設委員会／日本キリスト教団部落解
 放センター／日本キリスト教婦人矯風会／日本聖公会人権担当／日本バプテスト同盟／日本バプテスト連盟在日・日
 韓連帯特別委員会／日本バプテスト連盟部落問題特別委員会／日本YWCA／部落問題に取り組むキリスト教連帯
 会議

※後援・賛同は含予定(2014年5月31日現在)

《プログラムの内容》

～8月7日（木）～

【開会の祈り】吉田絵理子さん（広島女学院中高、協議会運営委員）

【基調報告&オリエンテーション】船木暢夫さん（聖母被昇天学院中高、協議会副運営委員長）

【聖書研究とメッセージ】「背中から抱きしめる神」片岡謁也さん（日本基督教団若松栄町教会牧師、東北教区宣教部委員長）

野口英世が洗礼を受けた教会として知られる若松栄町教会牧師である片岡さんは、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故の後、東北教区に被災者支援センターを立ち上げ、若松栄町教会に「放射能から子どものいのちを守る会・会津」「会津放射能情報センター」の代表であるお連れ合い片岡輝美さんと共に初動から震災被災者支援の活動を展開してこられました。とくに不安を抱えるお母さん・子どもに寄り添い、子ども健康相談会や反原発学習会、食品放射能測定などに取り組み、キリスト教学校や全国各地での講演活動を通して震災・原発事故発生から3年が経った東北・福島の状況と課題を発信し続けておられます。昨年夏、東北の地で初めての開催となった仙台でのセミナーに駆けつけて下さった片岡さんを福岡にお迎えし、「九州で聴く福島からのメッセージ」として福島での出会い・課題の中で紡いで来られた聖書からのメッセージを語っていただきます。

【主題講演】「見えてきたもの・見えなくされたもの ～指紋押捺拒否から33年～」崔善愛さん（ピアニスト）

1981年21歳のとき指紋押捺を拒否、1983年起訴され、1審2審では有罪、そして1989年昭和天皇の死去に伴う「恩赦」となる。指紋押捺拒否によって再入国不許可となり、悩みつつも米国へ留学のため出国、2年後の1988年一時帰国時に特別永住権を奪われ、180日の在留特別許可。以来VISAを更新しながら裁判で闘うが、1998年最高裁で敗訴、しかし翌年国会参議院法務委員会に参考人として招致され、結果法務大臣が謝罪、2000年、14年ぶりに特別永住を取り戻した。この約20年の闘いから見えた人権の尊さを語りたいと思います。（以上、崔善愛さんより）

崔さんは現在、恵泉女学園大学講師（「人権論入門」担当）。共著『クリスチャンとして「憲法」を考える』（いのちのことば社、2014年）。教育の国家化など「これから」の学校現場での課題にも焦点をあててお話しいたします。

【分科会】

5つのグループに分かれて発題・証言を聴き、話し合います。

- ① 「部落解放教育」 組坂幸喜さん（部落解放同盟筑後地区協議会書記長、総合格闘家、九州大谷短期大学非常勤講師）
伏見能成さん（大阪星光学院中高、協議会運営委員）

部落解放の運動家であり空手家！としても知られる組坂さんから、今回のセミナー開催地、福岡の学校で起こった教員による差別事件についてお話しいたします。また大阪のカトリック校で部落解放教育に関わってこられた伏見さんの発題を受けて、これからの部落解放教育にどのような視点が必要か？切り口は？を共に考えます。

- ② 「学校とセクシュアル・マイノリティ」 橋 講介さん（一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会九州支部）

「性同一性障害」の当事者と家族に交流と精神的ケア、情報提供を行い、一般市民に対する啓発や政府等への働きかけを行って、性別による不当な差別を防止・根絶することを目指した活動を続けておられるgid.jpから橋さんをお迎えします。クラスに一人はいると言われるセクシュアル・マイノリティ。さまざまなセクシュアリティを生活している児童・生徒・学生、同僚との出会いのため知っておきたい基礎的な知識を整理するミニ講座を含め、学校でどんな取り組みができるのか？戸惑いや課題を共有し、ともに考える時としましょう。

- ③ 「東日本大震災で問われていること」

中嶋利昭さん（前・福岡県立修猷館高校館長、前・筑紫女学園中学校長）

佐藤信行さん（福島移住女性支援ネットワーク代表、在日韓国人問題研究所所長、協議会運営委員）

修猷館高校では2011年3月11日東日本大震災が起きた直後から被災地支援として、震災の傷跡が残る被災地・宮城県への修学旅行を提案し、生徒・保護者の批判を受けつつも実施し、国内外から注目された。修猷館高校を定年退職後、私学の筑紫女学園中・高校に移り、赴任直後の10月に生徒・職員50名によって南三陸を中心にボランティア活動を実施。この実績を基に翌年度は高2修学旅行のコースに組み込み学校行事に位置づけたー2つの学校での取り組みをリードされた中嶋さん。被災者支援の中でも外国にルーツを持つ方々ー特に中国・フィリピンなどから農村花嫁として過ごす中、あの震災に直面した移住女性とその子どもたちへの支援を続けてこられた佐藤さん、お二人の報告を聞き、3年が経過し風化が懸念される現在、どのような支援が必要とされているのかを考えます。

④「外国にルーツをもつ子どもたち」 田中木美さん(ともに生きる街ふくおかの会)

金美子(キム・ミジャ)さん、李鍾(イ・ジョン)さん(青春学校)

国際化が進む日本には、すでに四世・五世となる在日コリアンの子どもをはじめ、韓国、中国、ブラジル、ペルー、フィリピンなどニューカマーの子どもが急増しています。また、日本人と外国人との国際結婚も増え、日本国籍あるいは二重国籍のダブルの子どもも多くなっています。田中さんからは、福岡市立中学校、ともに生きる街ふくおかの会での、多文化の子どもたちの教育支援の中で気づかれたことを語っていただきます。金美子さん、李鍾さんからは、在日韓国・朝鮮人やニューカマーの人びとが、学生スタッフとともに識字を中心に学びを取り戻す夜間学校活動を展開してこられた青春学校の取り組みをお聞きます。(さらに、外国にルーツをもつ当事者の中学生をゲストに迎えることができるかもしれません。)外国にルーツを持つ子どもたちのアイデンティティ保障、多民族・多文化共生教育の実際的な課題について学び、考えます。

⑤『教育改革』とキリスト教学校 崔善愛(チェ・ソンエ)さん(主題講演講師)

本田栄一さん(前 桜美林中学高等学校長、協議会副会長)

崔さんは、すばらしい演奏と講演によって、私たちの魂を人間の尊厳を貫く生き方へと揺さぶり目ざめさせる働きを続けておられます。また二人の子の母としてPTA役員を務めつつ、学校での「日の丸・君が代」強制をはじめ、教育現場への国家の介入の問題に深い関心を寄せ、反対の姿勢を鮮明にしておられます。主題講演をしてくださった崔さんを囲み、さらに語り合しましょう。本田さんからは道徳の教科化等の最新の状況報告をしていただき、また教科書問題の現状、各地での取り組み等も分かち合い、キリスト教学校で何ができるか、何をしなければならないか、課題を明確化し共有することを願っています。

【交流会】全キリ人権セミナーは、充実した学びとともに、全国各地からの参加者との出会いのセミナーとしても好評です。昼間のプログラムで得た驚きやチャレンジ、疑問や発見は、誰かと語り合うことによって、さらに違った視点が増えられ、ひと味深みを増してくれます。自分と同じような悩みをもつ参加者との出会いは、ささやかな自分の実践への自信と勇気を与えてくれます。何より、同じ思いを持つ人たちとの語り合いは喜びと元気のみなもと。今年も、豊かな出会いと楽しい語り合いを!

～8月8日(金)～

【朝の祈り】林 尚志さん(カトリック・イエズス会神父、下関労働教育センター所長)

1934年、東京生まれ。自らを「疎開派・焼け跡育ちで、国民学校を1年から6年までフルコースでやった日本唯一の世代」と称する。上智大学進学、1955年イエズス会に入り、69年司祭叙階。細江(下関)、宇部、彦島(下関)教会での司牧を経て、88年より下関労働教育センターを拠点に活動する。カトリックの「社会教説」を弘布・実践するとともに、労働者運動に参画し続け、東ティモール独立運動とも深く関わる。つねに現場に身を置くこと、そして歴史の重荷と社会の歪みを負って生きようとする人々とともにあって、そこからの希望を「学ぶ」という一貫した姿勢を持つ。著書『石が叫ぶ福音——喪失と汚染の大地から』(岩波書店、2011年)

【全体会】「これからどうする」

このセミナーでの出会い、気づいたこと、学んだこと、新たに芽生えた疑問……。学校や教会の現場でどのような実践につなげてゆくことができるでしょうか。このセミナーが新たな一歩へのスタートとなるような、分かち合いの時間を計画しています。

【派遣礼拝】 関田寛雄さん(日本キリスト教団神奈川教区巡回教師、青山学院大学名誉教授、協議会会長)

【人権屋台】「これからの一歩のために」

会期中、講堂のエントランスホールにチラシ・資料の配布コーナー、書籍販売コーナーを設けます。博多名物の屋台に立ち寄るように、のぞいてみてください!このチラシ配りたい、こんな資料を紹介したい!と思われる方、どうぞお持ち下さい!ロシナンテ社による平和・人権関連書籍等の出張販売もあります。一般書店では入手しにくい、小規模出版社や運動団体等の貴重な資料を、直接手に取って確かめられる得難い機会です。

フィールドワークはオプションです。

フィールドワーク (オプション)

A 「筑豊に朝鮮人強制労働・差別の歴史を訪ねる」

- ◇集合：8月6日(水) 9時30分、博多駅筑紫口(新幹線降りて右手)貸し切りバス駐車場
- ◇参加費：4,000円(昼食込み)*セミナー参加費にプラスして送金して下さい(注：現地支払い不可)
- ◇募集人員：40人(貸切バスのため先着順)
- ◇案内：川本良明さん(日本基督教団小倉日明教会牧師)
金貞子さん(西南KCC理事長)
安藤龍生さん(田川市石炭・歴史博物館館長)



◇博多駅から最初の目的地である在日大韓キリスト教小倉教会を目指して出発します。小倉教会は、今回のセミナー主題講演者 崔善愛さんの母教会です。併設された西南KCC 人権資料館では、故 崔昌華(チョエ・チャンホア)牧師が人権回復のため尽力なされた強制連行・強制労働させられた韓国・朝鮮人、軍隊慰安婦に関する歴史資料を見ることができます。永世園(炭鉱犠牲者納骨堂)、小田山墓地(遭難者のお墓)の案内後、筑豊へ向かいます。**世界記憶遺産に登録された絵師、山本作兵衛さんの炭鉱記録画鑑賞**と共に、在日韓国・朝鮮人の苦難を辿る現場研修のコースです。

*17時00分ごろ博多駅到着の予定ですが、天候や道路の渋滞などで大幅に遅れることもあります。

B 「玄海原発を脱原発の視点で学ぶ」

- ◇集合：8月6日(水) 9時30分、博多駅筑紫口(新幹線降りて右手)貸し切りバス駐車場
- ◇参加費：3,500円(昼食込み)*セミナー参加費にプラスして送金して下さい(注：現地支払い不可)
- ◇募集人員：40人(貸切バスのため先着順)
- ◇案内：後藤富和さん(弁護士・大橋法律事務所、「原発なくそう!九州玄海訴訟」「よみがえれ!有明訴訟」弁護団)
青柳行信さん(2011年4月「原発とめよう!九電本店前ひろば」を立ち上げ、2014年1月座り込み1000日突破。)

◇九州電力玄海原発は1975年運転開始の1号機をはじめ、4基を有する九州電力の中で最大の発電所です。特に3号機は、日本初のプルサーマル発電で注目されました。現在は4基すべて点検中ですが、再稼働の時期や事故発生時の(福岡市までを含む)周辺住民の避難問題等、九電の川内原発(鹿児島)と共に関心の的となっています。

◇約13メートルの国内初の全周型実物大原子炉模型がある九州電力玄海エネルギーパーク(玄海原発隣接)、玄海町立の次世代エネルギーパーク「あすびあ」、玄海ウインドファーム(風力発電)、脱原発運動に取り組んでいる「キッチンみのり」等をたずね、原発をめぐるさまざまな問題について考える時としたいと願っています。

*17時00分ごろ博多駅到着の予定ですが、天候や道路の渋滞などで大幅に遅れることもあります。

会場のご案内

<http://www2.fukujo.ac.jp/js/>

福岡女学院中学高等学校

〒811-1313 福岡市南区^{オサ}臼佐3丁目42-1

- 鹿児島本線南福岡駅・・・西鉄バス45番(約19分)《博多⇄南福岡間はJRで約8分》
- 西鉄天神大牟田線井尻駅・・・西鉄バス45番(約12分)
- 西鉄天神大牟田線大橋駅・・・西鉄バス42番(約13分)

※バスは「福岡女学院前」(下車すぐ)経由のものと「放送所前」から徒歩(約5分)となるものがあります。

※利用可能なパス: Kitaca、PASMO、Suica、manaca、TOICA、PiTaPa、ICOCA、はやかけん、SUGOCA、nimoca

<地図>は次頁に掲載しています

